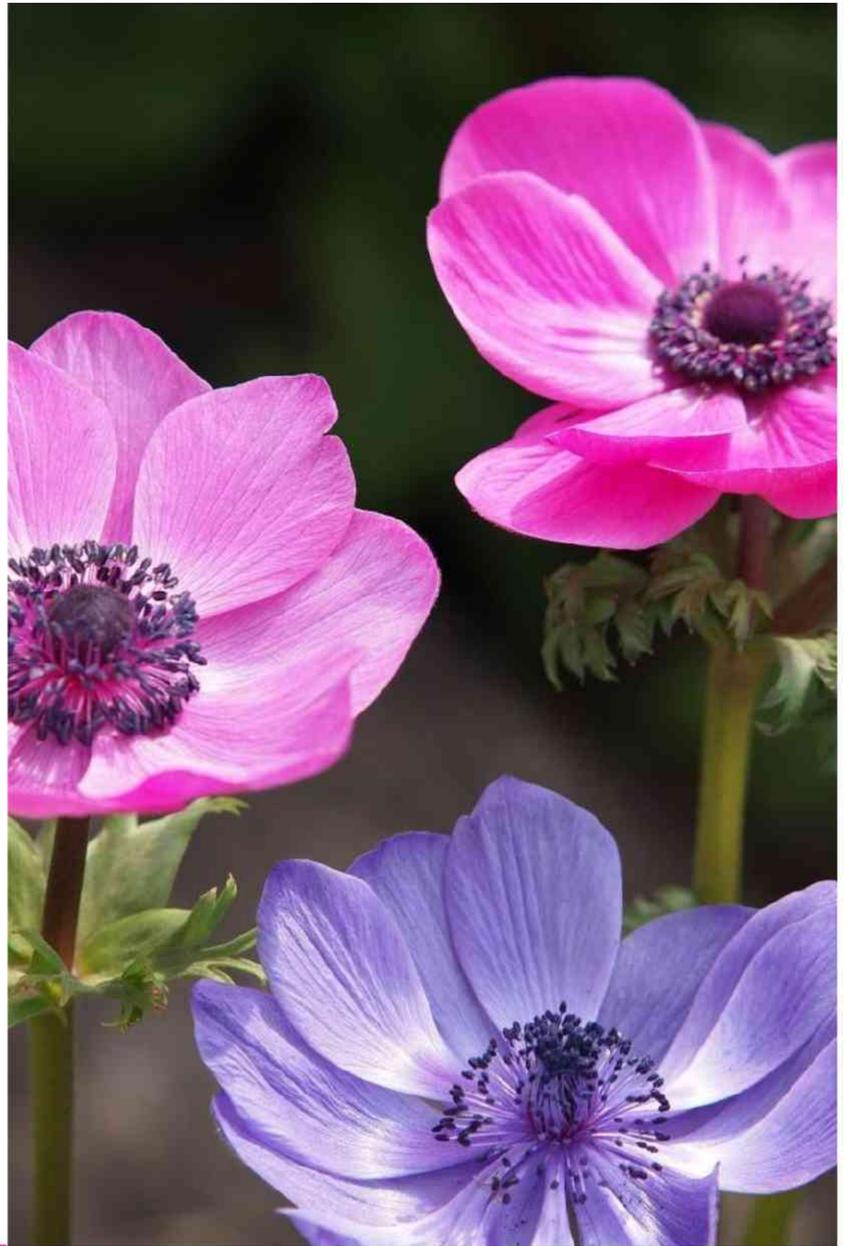


新年号

2013

創傷ケアニュース



One step closer ,Closer than before!

第9回ミレニア創傷ケア研究会 特集！！

写真で見る研究会・懇親会

李家医師インタビュー

ミレニア研究会を終えて

クリニカルコーディネーター ねんちゃんが行く！

大分岡病院訪問記

キャラバン報告

お知らせ

編集後記

目次



第9回ミレニア創傷ケア研究会

11月17日。鉛色の空の仙台で第9回ミレニア創傷ケア研究会が行われました。寒さが厳しい中スタートした本年度の研究会でしたが、100名以上もの医療関係者にお集まり頂きました。ご参加くださった皆様、この場をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。第9回のテーマは「再生—治療コンセンサスの世界基準を目指して—」。アンサーパッドを用いたコンセンサス会議では、各診療科の先生・看護師の方々から治療に関する見解やそもそもの質問に対する意図や質問が多く寄せられ、活発な意見交換が出来たものと思います。株式会社ミレニアでは、今回の得られたコンセンサスを元に、創傷ケアの日本市場をリードしていく存在へ、また一歩、近づきます。

写真で見るミレニア創傷ケア研究会

白熱するコンセンサス会議



第9回 創傷ケア研究会



真面目な研究会の後は楽しい懇親会



すずめ踊りと仙台ジャズバンド！



ブルブルする謎のプレゼント...



2013年は大分で会いましょう！



第9回 ミレニア研究会を終えて

李家中豪
Chugo Rinoie

第9回ミレニア創傷ケア研究会を終えた李家医師に今後の創傷ケアと、そして足の診療所誕生について、インタビューを試みた。

先日は寒空の仙台での創傷ケア研究会、お疲れ様でした。早速ではありますが、第9回ミレニア創傷ケア研究会の感想をお聞かせください。

李家医師「今回も多くの先生方から貴重なご意見をいただくことが出来て、大変良い研究会になったかと思っています。特に、コンセンサス会議に参加して思ったことは、治療に対する意識などが統一され、「ミレニアの創傷ケア」というのが9年をかけてまとまってきたという印象を強く受けました。たとえば、除圧・感染・手術をとっても、治療に対する方向性が整ってきているように思います。」

アンサーパッドを用いた初のコンセンサス会議でしたね。

「そうですね。創傷ケアに関してはまとまったエビデンスが無い分、さまざまな症例を通して学んでいかなければならない。先生方の成功した事例やうまくいかなかった事例…そうした症例を積み重ねていくことが今後も大切だと思いましたね。創傷ケアは、同じ条件で同じ薬剤を使用していたところで、慢性創傷に悩む患者全員が治癒するわけではない。患者個々によって治療が異なるため、積み重ねを大事にしていきたい。」

今後のミレニア創傷ケアセンターが目指していくところは。

李家医師「来年は第10回目の創傷ケア研究会になります。方向性のまとまりが見られたところで、我々はもう1歩先を歩いていかなければならないと思います。」

創傷ケアセンターとは、日本の病院の中でも先端医療を行う場、傷に対して高度な知識と技術を持ったプロフェッショナルな集団でいることです。周りのレベルが上がれば、私たちはそのもっと先に行くような存在でいるべき。そのためには、やはり「予防」に対して高い意識を持つこと。」

そこで、予防への意識は“足の診療所”へ 引き継がれる…

李家医師「たとえば、日本では糖尿病患者の壊死が進行した無残な事例が多く見られます。適切な医療機関（創傷ケアセンター）の受診がもう少し早かったら切断しなくて済んだ…といった悔やまれる事例が見受けられるのは、患者本人が痛みを感じないために受診が遅くなったこともあれば、医師が診察をしておきながら早期に対応が出来なかった（もしくはしなかった）ことにも問題があるといえます。医師の傷への意識が低いことは患者の命を危険にさらします。がん患者より難治性創傷における足切断のほうが死亡リスクが高いのは論文として発表されているのですから。そこで、足の傷を予防するゲートキーパーになる「足の診療所」が2013年冬にオープンします。足の診療所の存在を通して、傷を作らない・早期発見の重要性を伝えていきたいと思います。そして日本の医師、糖尿病患者にも下肢切断がいかに重症度が高い症状であるかを伝えていかなければならない。予防に対して高い意識を持ち、下肢切断を無くしていくことこそが重要になっていくと思います。

足の診療所のオープンが難治性創傷・下肢切断の予防に大きく貢献することと思います。第10回創傷ケア研究会も楽しみですね。

もちろんです。来年の研究会では、足の診療所でのデータを用いて予防の観点からの発表ができれば面白いですね。下肢切断を無くす。これにはまずは傷の予防からなのです。ミレニア創傷ケア研究会10年目にして、改めて大切にしていきたいテーマであります。下肢切断の予防について発信していくことは、日本の創傷ケア・下肢救済の歴史に創傷ケアセンターの名を残す、大きなインパクトを与えることでしょう。



ミレニア研究会後の懇親会会場にて。足の診療所の院長を務める桑原医師と。

「予防」という言葉に力を込める李家医師。足の診療所のオープンを前に、日本での下肢切断を無くしていく想いは、より一層熱い。

クリニックコーディネーター
ねんちゃんが行く！

大分岡病院さん訪問記

先日、洛和会音羽病院創傷ケアセンターご一行様が、大分岡病院さんへ研修のために訪問することになりました。大分岡病院さんで実施をしている「下肢救済のためのチーム医療ワークショップ」は厚生労働省の委託を受け開催しており、さらにチーム医療実証実施施設に2年連続で認定されています。医師、看護師のみならず、臨床心理士やソーシャルワーカーからのプレゼンテーション、実技も設けた充実した内容となりました。



See you later!



セミナー参加もチーム医療がテーマとなっているため、多職種での参加をお願いしているそうです。みなさんの表情から研修の充実度が伝わってきますね！

キャラバン報告

12月2日（日）に凶南病院、12月7日（金）に庄内余目病院で創傷ケア講演会（キャラバン）が行われました。

12月1日（土）凶南病院キャラバン

今回の凶南病院キャラバンも場所を変更して2部制で講演会を行い、合計76名以上もの方にご参加頂きました。今回は研究会でも使用をしたアンサーパッドを用いたキャラバン。気になる質問項目ですが、慢性創傷に関する基礎知識をクイズにして出題し、行いました。具体的には、傷を見る時のポイント・初診時に必要な検査は何か（SPP、ABI等）、創傷の治療過程は…等など。創傷に関する基礎知識とケアを知ってもらうことで、創傷を見つけた時に早めの処置が可能になり、病院受診時に傷が悪化していることがないようにするためでもあります。フェルトを使用した実技もあり、ご好評の中で無事に終えることが出来ました。

参加者からのコメント

クイズもあり、詳しい回答もして頂いてわかりやすかったです。（病棟看護師より）

ハイドロサイトなどでスポンジ系で除圧をしていたので、フェルト使用できるようにして行きたいと思いました。

12月7日（金）庄内余目病院キャラバン

雪が吹雪く秋田県での庄内余目病院キャラバン。ミレニアからの応援部隊は秋田の吹雪でフライトが不安な中参加をしました。当日は予約の段階でも50名近い参加者がいました…が、夕方に発生した東北地方での震度5の地震の影響で参加者が半減。「行きたいのに電車が止まって…」「今日は外出は控えます」といった止む無くキャンセルとなった方のお声もある中、来てくださった25名強の参加者さんと開始時間を遅らせ、スタートしました。

今回は地震のためのキャンセルや開始時間を遅らせるといったこともありましたが、庄内余目病院様は地震にも負けずリベンジキャラバンをすべし！と燃えています！

また会おうね！



第11回 日本フットケア学会 第5回 日本下肢救済・足病学会 合同学術集会

今こそ総力を結集しよう!

2013年

2月9日(土)・10日(日)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

パシフィコ横浜

埼玉医科大学 形成外科 教授

会長 市岡 滋

日本フットケア学会 副理事長
足のナースクリニック 代表

副会長 西田 壽代

同時開催 第2回マゴットセラピー研究会

事務局
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
埼玉医科大学 形成外科内
事務局長：佐藤 智也

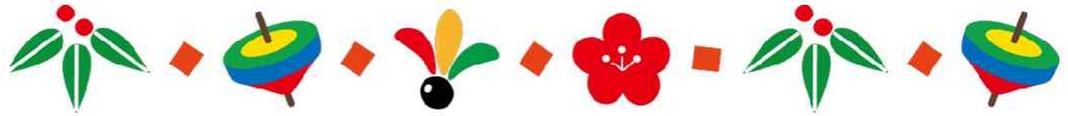
連絡事務局
〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-22 一乗寺ビル
株式会社 コンベックス 内
TEL: 03-3583-6677 FAX: 03-3589-3974
Email: foot2013@convex.co.jp

事前参加登録
2012年
10月1日(月)
▼
12月7日(金)

演題募集
2012年
8月7日(火)
▼
9月25日(火)

ホームページ
foot2013.umin.jp

おしらせ



訪問看護事業部

QIミーティングが開催されました！



11月28日(水)に第三四半期 QIミーティング(質管理委員会)が行われました。平日にも関わらず、外部からのご参加頂き、ミレニア

ースも、より緊張感を持って取り組んだ QI。利用者の転倒防止策として、KYT法(危険・予知・トレーニング)を用いて実際に転倒率を下げる事が出来たケーススタディの発表など、意見が活発に飛び交うミーティングとなりました。

さらに、今回(株)ジャパンケアサービス様との提携について発表がありました。訪問看護が介入した後にヘルパーの介入が入ることで利用者のコストの削減にも繋がります。連携を強化していくことで今後も益々期待が高まる、「訪問看護から介護へ」症例が増えていくことを期待します。

“退院後”を知る ～訪問看護の実際～



11月某日、東京女子医科大学で病棟看護師向け在宅医療勉強会があり、ホームケア練馬の管理者・スタッフらが講師として参加をしました。

同大よりご紹介を頂いたご利用者様の退院後の生活について紹介。在宅をよりよいものにすべく、訪問看護師として心がけていること、病棟看護師へ意識してもらいたいことをケースと共に発表しました。

ご利用者様が入院中に憧れた在宅の生活であっても、必ずしも退院から在宅へスムーズな移行が出来るとも限らない。今回はそうした事例を取り上げ、家で過ごすことの本当の意味、在宅のQOLとは何か問いかけました。当時ケアにあっていた訪問看護師の後悔と苦悩の講演に、参加者の中には共感して涙を流す方もいらっしゃいました。参加者からは「家に帰ってほっとできる時間ができるように、病棟看護師も支援をしていけるように退院調整含め、円滑に在宅に移行できるようにしたいと思いました。」とのコメントが寄せられました。

創傷ケア事業部



昨年、東葛クリニックでは PRP 治療の先進医療申請を行い、無事認可が下りました！

記念に(?)李家医師来日の際に写真をパチリ。

今後とも宜しくお願いいたします！

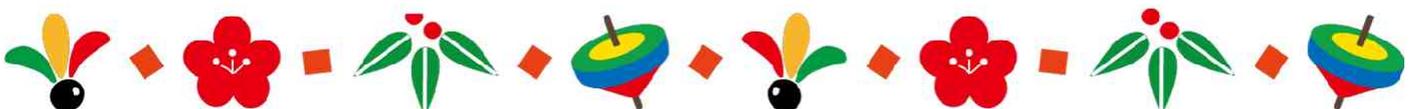
アライアンス事業部

貞方章男プロゴルファー来社！

カスタムメイドインソール FEET in DESIGN を愛してやまない男子プロゴルファー貞方章男プロが先日ミレニアにご来社されました！インソールを手にし



て「これが無いと怖いくらい。もう手放せません！」と笑顔で語って下さいました。これからも益々愛されインソール、FEET in DESIGN を宜しくお願い致します！





表参道 足の診療所 情報

2013年オープン予定の足の診療所が11月中旬に開所式を行い、同フロアにあるベアハグ表参道店は一足先にオープン日を迎えました。



晴天に恵まれた11月中旬。乃木神社にはベアハグ表参道店のスタッフら、足の診療所の医師と関係者らが集まり新店舗設立ご祈禱を行い、ベアハグ表参道店はこの日オープンを迎えました。足の診療所内での儀式を終える頃には、オープン日に予約を取ることに出来た幸運なお客様が続々ご来店。(予約殺到だったとのこと!) 来年には足の診療所も本格オープンし、表参道から悩めるすべての足へ春風を吹かせることでしょう!

広報室より



ホームページリ
ニューアルオー
プンから早数ヶ
月。ミレニアの
Facebookも順

調に更新しています!!ミレニアの社内・イベントの様子から、ミレニアの事業である訪問看護や創傷ケア、認知症や脳の記憶に関することなどなど、情報満載でお届けしています。ブログとお知らせツイッターも随時更新中。ミレニアへの「いいね」が未だの方、ぜひ「いいね」してみてくださいね。

Twitter : @millennia_corp

Facebook : 株式会社 ミレニア Millennium

Blog : <http://www.qo14u.info/>

編集後記

こんにちは!創傷ケアニュース新年号です!!
そして、あけましておめでとうございます!!遅くなりました!
みなさんお正月はどう過ごされましたか。

2013年もこの創傷ケアニュースが続くように
日々精進して参りますので、今年もお付き合いの
ほど宜しくお願い致します。(特にN代様、今年も
創傷ケアニュースをサポートのほど宜しくお願い致します)
次回発行は桜の咲く時期を予定しています!
新企画も考え中です!お楽しみに!

たまたさち

